

水産生物ゲノム研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-06-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中山, 一郎 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2006855

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



水産生物ゲノム研究

企画連絡室ゲノム研究チーム

研究の背景・目的

- 水生生物ゲノム研究は世界中で急速に進展(フグ, ゼブラフィッシュ)
- しかし, 産業種での研究はほとんど無い(フグもヒトゲノムの補完)
- 欧米諸国やアジア諸国との特許争い
- 水産国日本として世界をリードして産業種のゲノム研究推進

研究進行状況

- ノリゲノム研究事業化 (H.13年度～)
ノリゲノム情報蓄積開始
- ヒラメゲノム推進の予定 (H.15年度～)
育種に向けたゲノム情報蓄積開始予定

波及効果

- ゲノム情報を使った育種法の確立により他種育種にも応用可能
- 食料目的以外の機能を使った新産業創出の可能性
(生物工場, バイオマスエネルギー, 環境浄化等)

